

令和3年6月3日

保護者の皆様へ

大阪府立豊中高等学校能勢分校  
准校長 菅原 亮

東京大学等による「交通課題の解決に向けての共同研究」について（お知らせ）

平素は本校教育活動にご理解、ご協力を頂き、心より御礼申し上げます。

本校では、今年度も、教育活動を「地域協働推進校（グローバル型）」事業特例校として、教育活動を地域と協働で進めております。その取組みの一つとして、今年度、東京大学等と共同で下記の通り、研究プロジェクトを実施することとなりました。今プロジェクトを通して、生徒が自分たちの地域社会について改めて考える機会とし、また、グローバルな「学び」が深まっていくことを期待しています。

つきましては、実証実験、生徒や保護者の皆様へのアンケート調査など様々な取組みを行いますので、ご協力をお願いいたします。

記

● プロジェクト：

**本校と東京大学等による「交通課題の解決に向けての共同研究」  
～生徒が主役となり能勢町の交通問題の解決に取り組む～  
(大学の先生と高校生による共同研究・国際交通安全学会採択事業)**

- テーマ：中山間エリアの高校通学における交通課題の解決と教育的効果の測定
- 共同研修主要プロジェクトメンバー：
  - ・研究代表者：北村友人 教授（東京大学大学院教育学研究科）
  - ・その他大学研究者：大阪大学、大阪市立大学、九州大学、富山大学、宇都宮大学等
  - ・豊中高校能勢分校、能勢町役場、株式会社 能勢・豊能まちづくり
  - ・公益財団法人 国際交通安全学会
- 概要：中山間地における本校の自転車通学の問題を中心に、安全面や環境面などへの効果や改善点などを生徒が中心になって考え取り組んでいく研究プロジェクト。

本校では、「地域魅力化クラブ」部員が中心となって、教育、交通を専門とする大学の先生方と共に、全校で以下の具体的アプローチで交通課題解決に取り組む。

- ・通学困難生徒へ e-bike（電動アシスト付スポーツバイク）の貸出とその効果測定
- ・自転車通学路周辺の環境整備等
- ・研究プロジェクトの前後で、アンケート実施。生徒の意識変容の調査、検証、評価